



鈴鹿の魅力再発見!



#最高に住みやすいまち鈴鹿



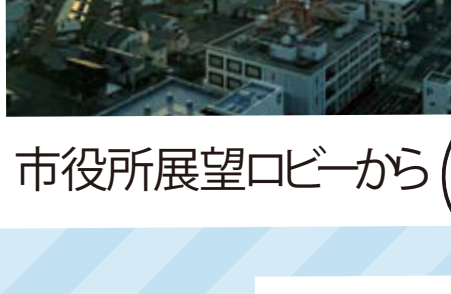
魅力あふれる風景や取り組みがたくさんある鈴鹿。皆さんも、鈴鹿の「ココスキ」がきっとあるはず。

このコーナーでは、鈴鹿市公式インスタグラムに掲載している記事を紹介し、鈴鹿の魅力をお届けします。



市公式インスタグラム

お気に入りの風景



市役所展望ロビーから

神戸

展望台から一望できる鈴鹿の町並み



庄野羽山

水面のきらめきがまぶしい、市内を流れる一級河川

鈴鹿川

イチ押しプロジェクト

アーバンスポーツを楽しめる多目的スポーツ広場が2月にオープン



鼓ヶ浦
サン・スポーツランド
多目的スポーツ広場

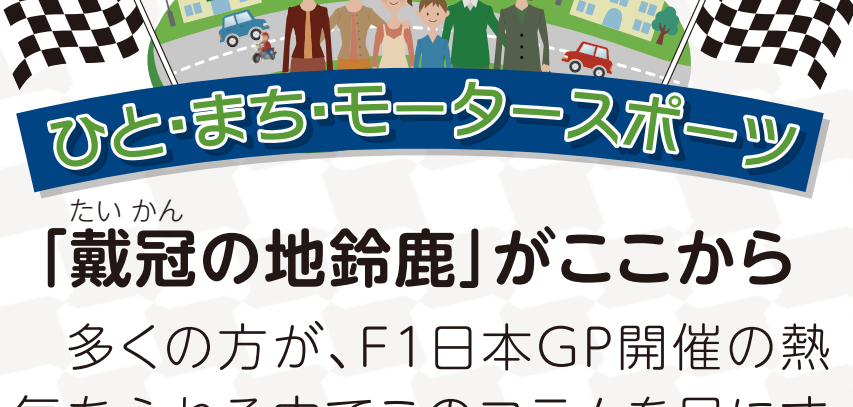
あの人のココスキ!



～白子～

白子は商業施設などが揃う活発なエリア。旧伊勢街道沿いに残る昔ながらの町並みも魅力的です。

問合せ 総合政策課 ☎382-9038



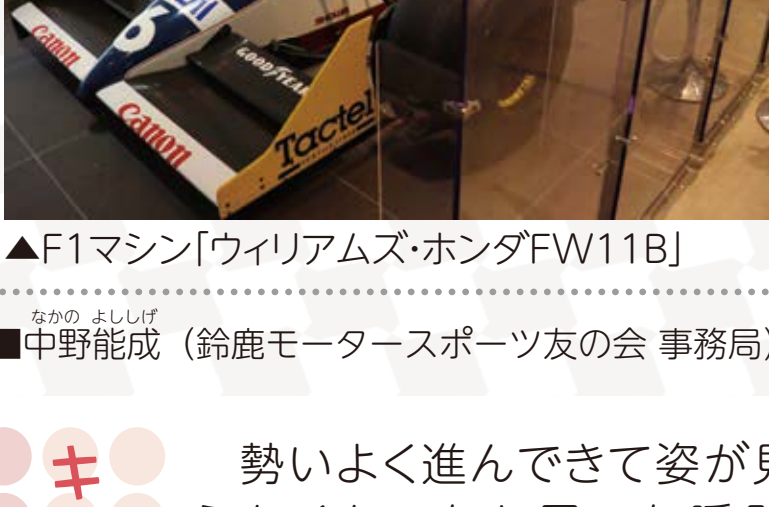
「戴冠の地鈴鹿」がここから

多くの方が、F1日本GP開催の熱気あふれる中でこのコラムを目にするのではないのでしょうか。

現在、新名神高速道路鈴鹿パーキングエリアに、F1マシン「ウィリアムズ・ホンダFW11B」が展示されています。1987年、初のF1開催となった鈴鹿サーキットでネルソン・ピケが自身3度目のドライバーズチャンピオンを獲得したマシンです。

当時の日本GPは、シーズン終盤戦に組み込まれていたこともあり、1991年まで5年連続で鈴鹿サーキットがチャンピオン決定の舞台でした。また、それぞれの年に生まれた数々のドラマが世界中のファンを沸かせ、鈴鹿が「SUZUKA」として国際的な認知度を飛躍的に高めた時代でもありました。

その後、2022年のマックス・フェルスタッペン(レッドブル)の王座獲得まで、鈴鹿でのF1ドライバーズチャンピオンの決定は12回を数えました。モータースポーツの聖地鈴鹿は「戴冠の地」でもあるのです。その歴史の幕を開けた偉大なマシンの展示は、6月30日(月)までです。



▲F1マシン「ウィリアムズ・ホンダFW11B」

なかの よししげ

■中野能成 (鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード

勢いよく進んできて姿が見えなくなったと思った瞬間、ジャンプ台よりもはるかに高い位置に飛び上がったスケートボーダーに慌ててカメラを向ける私。

2月にオープンした鼓ヶ浦サン・スポーツランド多目的スポーツ広場で、仰向けになり夢中でシャッターボタンを押しました。撮影を始めたときは曇り空でしたが、時間が経つと青空が見え始め、何度かジャンプをしてもらい撮れた1枚が表紙の写真です。素速く動く被写体を撮影できてホッと一安心しました。

春は季節柄、行事や景色の写真を撮る機会が増えるのではないのでしょうか。

今号からスタートした「鈴鹿の魅力再発見!#最高に住みやすいまち鈴鹿」では、市公式インスタグラムで取り上げている鈴鹿の魅力的な風景や人物などを紹介していきます。ぜひご覧いただき、フォローしていただければ幸いです。(梓)